

# 議会だより

## 新たな



4月6日 小学校入学式

## たび たち 出発



◇一般質問 .....	2~5
◇第1回定例会内容 .....	5~7
◇委員会報告 .....	7~9
◇村政報告・請願陳情 .....	9
◇議会のうごき・編集後記 .....	10

# 平成22年 第1回定例会

平成22年第1回定例会は、3月4日から12日までの9日間の会期で開かれた。本定例会では、条例改正案9件、22年度予算案9件、21年度補正予算案9件の合計27議案が提出され、慎重に審議された結果全議案原案のとおり可決された。  
また、本定例会では、三名の議員が一般質問を行い、それぞれ村長の考えや村政をたどしました。

## 一般質問



鈴木 新平 議員

### 今後の農道・生活道路の整備は

鈴木 3点について質問をしたいと思います。

まず第1点であります。農道・生活道路の整備について、今年度、国の地域活性化・経済危機対策臨時事業等により、村内4箇所を農道の簡易

舗装工事が行われております。農道の舗装については、幹線道路はかなり舗装率が高くなっているようですが、支線農道についてはやはりまだ舗装が十分とはいえない状況であります。

昨年民主党政権となり、各省庁による事業仕分けが実施され、農道に対する補助事業がかなり削減されているとの報道があります。

こうした状況の中、村は今後農道及び生活道路の舗装を計画的に実施して行くのか。また補助事業のない支線農道は、村の基金を利用して、少しずつでも計画的に舗装を進めて行くのか村長の所見を伺います。

### 村長

各集落内の生活道路については、さきの緊急防

災事業において、一部地域を除きほぼ整備されたと認識しております。農道についても、農業用ハウス等の集積区域で補助事業採択条件を満たすものについては、各種の補助事業により整備をいたしました。

が、今後は大変厳しいものになろうと考えている。このような中21年度には国の緊急経済対策事業により、整備を実施してきた。今後その整備については、補助事業に該当する路線があれば積極的に取り組んで行く。複数戸数が利用される未整備の生活道路については、用地条件を整えば、財政的に可能な限り整備したいと考えている。

### 小中学校の学力向上対策を問う

鈴木 第2点目は、本村の小中学校の学力向上についてであります。

本村の小中学校においては、施設面は、耐震補強もなされ充実したように思います。今後は小学校においては、基礎学力の向上を目標に、家庭と連携し、現在よりもレベルアッ

プが必要ではないか。また中学校においては、進路に向けた学習を、講師の先生や高校生を講師にお願いし、学力向上に努力していただきたいが、教育長の考えをお聞かせ願いたい。

村には生涯学習センターもある。これを利用して子供たちが自分の将来に向かって結果がでるようにすれば、なお結構だと私は思います。



### 教育長

まず、小学校の基礎学力向上対策については、各学校ごとに学力調査の結果をもとに、学力向上プランを

作成し、少人数学級のよさを生かした個人に応じた指導に努めている。また、村教育委員会としても、基礎学力向上連絡会を中心に教師の指導力向上に努めるとともに、幼・小・中の連携により、学力向上に取り組んでいる。次に中学校の進路に対する学習についても、小学校同様日々の授業の充実、二学期以降は朝の学習会、教育相談、各種検定試験の実施等によって、更なる基礎学力の向上に努めている。また指導員等の導入による実効ある対策については、指導体制や経費、対象生徒をどうするか等検討課題について検証してまいりたい。

### 鈴木

少子高齢化の中で、わが中島村は人口に対し子ども比率が高く、そして教育への考えも学力向上に向け教育予算を投じ頑張ることが、教育向上にあらわれてくると思います。村長に伺いたいが、小学校での教科書以外の指導資料等の教育費の予算化についてどのように考えているか。

### 村長

私も教育には力を入れていくつもりです。今後教育委員会等とも相談しながら取り組んで参りたい。



**教育長**

児童・生徒の学  
力向上の取り組みについては、  
学校の先生方も本気になって  
学力アップのため、努力して  
おりますので、それらについ  
て支援して行きたいと思いま  
す。また県事業の外部人材活  
用加配計画というのがあるの  
で、それらも要望しているこ  
ろです。いろんなところか  
ら子どもたちの学力アップの  
ため、進めてまいりますので、  
ご理解願います。

**県南方部水災害対  
策協議会について**

**鈴木**

第3点目は、昨年  
10月の新聞報道によると、県  
南方部水災害対策協議会が発  
足したようであるが、その会  
議の内容について、説明願  
いたい。また会議の中で阿武隈  
川の急激な増水箇所について  
報告がなされたようであるが、  
中島村においても阿武隈川の  
「鷹ノ図」の周辺で増水がお  
こることがあることを報告さ  
れたかどうか伺います。

**村長**

近年、各地で予測  
できない短時間での集中豪雨  
が頻発し、河川の増水や、低  
地の浸水など水災害の発生が

起こっている。このような水  
災害に対し、地域住民の防災  
意識の向上と関係機関におけ  
る防災情報の共有と活用を図  
り、水災害対策の推進を目的  
に設立された。構成は県南地  
方市町村・県・広域消防となっ  
ている。

**鈴木**

水災害についてで  
すが、阿武隈川の水門が2箇  
所ありますが、河川が増水し  
た場合水門を閉めると河川の  
水は入ってこないが、大池や  
矢吹方面からの水によって、  
松崎地区は水没の可能性があ  
る。

**村長**

阿武隈川の中島村  
管内の河川改修は松崎地区の  
「鷹ノ図」から下流をのぞき、  
上流は整備されている。その  
中で中井地区の災害対策の考  
えですが、平成10年の8・2  
7災害以降農作物への冠水は  
現在までない。当時に比べて  
堤防や堀川ダムが完成し、流  
量調整能力が数段アップし安  
全性は高まっていると聞いて  
おります。しかし鷹ノ図下流  
地域の整備、改修が抜本的対  
策と考えられますので、引き  
続きその整備促進を国・県等  
に積極的に働きかけてまいり  
ますので、ご理解をいただき  
たい。

**鈴木**

ただいまは村長、  
教育長には前向きに答弁をい  
ただきまして、中島村の展望  
が見えてきたと期待しており  
ます。中島村も農商工一体と  
なった豊かな村づくりを力を  
入れて、たゆまぬ前進をする  
ようお願いし、質問を終わ  
ります。



藤田利春 議員

**高齢者人口の増加  
に伴い村としての  
今後の対応は**

**藤田**

中島村の高齢者人  
口の増加に伴い、要介護者の  
施設入所待機者への対応及び  
福祉施設の整備充実について、  
村長の意見を伺います。中島  
村の65歳以上の高齢者人口は  
約170名で、高齢化率は21%と  
なっています。その人口構成  
の10年間ずつの統計の中で、  
一番突出して多いのは、50歳  
60歳代であと数年後には一挙  
に高齢化率が高まると予想さ

れます。

現在、中島村社会福祉協  
会が対応している要支援、要  
介護者の認定数100名近くあり、  
さらに他市町村の特老にいる  
要介護者は20名以上いる現  
状です。また待機者が8名い  
ると聞きます。高齢者並びに  
家庭経済を支えている若者た  
ちのためにも、待機者ゼロの  
村であってほしいと考えま  
す。そのためには要介護者にな  
らないための予防対策につ  
いてさらにきめ細かな対策の  
必要があり、スタッフの増員等  
も考えなければならぬと思  
います。また要介護者への地  
域密着型サービス充実させる  
ため、グループホーム、シ  
ョートステイ等を兼ねた小規  
模多機能施設等の対応も、  
数年後に迫る高齢化社会に  
向け、今から検討、整備して  
いただけませんか、村長の  
考えを伺います。

**村長**

本村の高齢化率は  
現在20%を超え、5人に1人  
が高齢者という今まで経験し  
たことのない超高齢化社会  
を迎えており、総合的な対策  
が重要です。こうした中、平  
成18年度から新しい介護保  
険制度がスタートし、村とし  
ても認知症や一人暮らし及び高

齢者世帯の増加等新たな課題  
への対応として、予防重視型  
の施策を展開してきた。一方  
要介護者の施設入所待機者は  
数人に減少した。今後引き続  
き予防教室事業等の充実強化  
を図り、待機者の減少につな  
がるように努力したい。

次に福祉施設の整備につ  
いては、高齢者の尊厳を尊重  
しながら、住みなれたふるさ  
とで暮らし続けることが、最  
大の願いだと思います。現在、  
村内にはそうした施設はない  
ので、当面村外の施設への利  
用を進めたい。また、今後関  
係法人等からそうした立地計  
画等があった場合、検討して  
行きたいと考えています。



地域介護予防活動

**藤田**

待機している要介  
護者はまだいるという状況の  
中で、中島村は県内でも入所  
倍率がトップであり、村の高  
齢化率的には低い数値となっ

ている。今後近隣町村を含め全体として高齢化率が高くなり、周辺市町村の待機者も多くなってくる。そうした時、今後も近隣市町村に頼るのか。国・県においても、地域密着型施設を今後増やす計画もあると聞いております。こうした中で、村は今後どのようにしていくのかお答え願います。

**村長**

施設の整備については、いろいろ困難も多いことから、現在充実している住宅での支援、デイサービス事業の強化を図りながら、今後の動向を踏まえ慎重に対処して参りたい。

**藤田**

現在の取り組みを強化したいとの答弁ですが、具体的にどのよう強化していくのか。そして中島村社会福祉協議会の現状のスタッフを増員する考えはないのか。

**村長**

社会福祉協議会は私が会長でもあるので、いまの意見をよく加味しながら考えたい。

**藤田**

今後、生涯教育、幼児教育、若い人のレクリエーションの場等を設け、地域環境をよくしながら、さらに老人福祉の施策を村として進め

てもらいたいと思いつながら、私の質問を終わります。



円谷 哲雄 議員

**職員の年代別構成比について**

**円谷**

職員は平成6年以降新規採用の抑制により、現在に至っており、退職者の補充は臨時職員を当てる傾向が強く、年代別構成比に偏りがみられ、修正を余儀なくされているというデータもあり、本村においても例外ではないと思えます。本村の年代別構成比はどのようになっているか、内訳をお尋ねいたします。公務員は住民福祉の増進等行政サービス等に支障がないよう公平に努めなければなりません。そのためには今後均衡のとれた構成比を目指し、これからの行政を担う若手職員の育成が急

務だと思えますが、村長の所見をお尋ねします。

**村長**

本村の職員は、平成9年には76人であったが、年々削減に努め、平成22年には55人となる見込みです。この間33人の職員が退職、12人が新たに採用となった。

**村長**

職員の年齢構成は、50歳代後半が16.4%、50歳代前半が23.6%、40歳代後半が3.6%、40歳代前半が18.2%、30歳代後半が14.5%、30歳代前半が16.4%、20歳代が7.3%の構成比であります。40歳代後半の比率が小さいものの、比較的均衡が取れているのかと思っております。

**村長**

職員の採用は、行政需要の大小や退職職員の関係、財政が関係するものであります。一方組織を継承するためには、適切な人員を補充する必要があると承知しております。ここ3年間は新採用はしていませんが、今までの状況を総合的に判断し、適切な時期に補充して行くことになっております。

**円谷**

先ほどの答弁にもあったが、雇用はそのときの状況、情勢においてなされるものであると、確定的な構成比をめざすことは、大変難しくなる。経費削減、職員削減

減の中で、雇用に関して村長も大変頭を悩ましていると思えます。そこで本庁の職員の適正人数は約何名くらいなのか、お伺いいたします。

**村長**

本庁の構成は、今の状況がいいだろうと思えます。

**円谷**

今回2名の退職予定者がいるということですが、職務に支障をきたすことはないのか、補充はどうされるのか、伺います。

**村長**

どうしても間に合わない場合は、臨時雇用をもつてやります。

**総務課長**

類似団体といつて、同じような人数や同規模の市町村の職員調査が年1回行われております。一番新しい数字は平成20年ですが、特別会計に属する職員を除いた、一般会計に属する一般職員は、当村では56名でした。ほかの類似団体の平均は65名でございます。

**円谷**

今後、現職員と臨時職員で対応して行くと思うが、経費の削減からは非常にいいことだと思えます。ただ、臨時職員はその時々不足分

を補うもので、恒久的ではない。さきの構成比ですと、50代が全体の4割強、それに対し30歳未満が、1割にも満たない数だと思えます。非常にバランスに欠けた数字だと思いますが、将来5年先、10年先どうなるのか心配となります。今後、恒久的な雇用を考えて行かなければならないと思うが、いかがか。

**村長**

先ほど申し上げたとおり、組織を継承するためには大切だと思えます。そのためには、適切な時期に適切な人員を配置することで、ご理解願いたい。

**円谷**

地域住民の行政への参加を考えた時、50代の職員はその同年代と近い人とのコミュニケーションが図られますが、20代ではどうかと心配な部分があります。そういった構成比が悪いと、デメリットが生じますのでその点も含めてできるだけ早めの検討を願いたい。

**村長**

前向きに検討して参りたい。

**円谷**

雇用、そして教育して戦力になるまでには、大



変な時間を要しますので、重ねて早急な検討をお願いいたします。

### 第4次中島村総合振興計画について



**円谷** 第4次総合振興計画なんです、平成18年に自立の道を選んだ中島村として、新しい構想、政策を打ち出した、いわば新しい第5次総合振興計画が出る可能性があるのかと思っていたが、当時そういうものをつくる考えはなかったのか。

**村長** 当時はありませんでした。

**円谷** 新しい計画は、早急に作成すべきと思います。なぜならこの村が今後どのような道を、どのような指針で進んで行くのかだと思います。自立の道を選んだのは事実で

すから、自覚も持たなければなりません。できるだけ早めに第5次総合振興計画を作るべきと思うが、どうか。

**村長** それについては、来年度には準備に入れるのではないかと考えております。

**円谷** 来年度にはということでは理解はいたしました。この第4次なんです、計画の中味は希望的なことを含めて、いいことばかり多いと思いますので、今度作られる計画はやはり現実を踏まえ、実現できるものでないと、村民にも受け入れてもらえないと思うので、その辺を考慮して作成に入っていたいただきたいと思いますが、いかがか。

**村長** 計画については、全部が全部実現するのは、難しいのかなと思っております。計画に沿ってほぼ実現できるような計画にしたいと思えます。

**円谷** ただいまのお話で了解しました。第4次のような立派なものでなくてもいいので、本当に現実に沿った内容のものを作成していただきたいと思えます。

## 審議内容

### ◆議決された条例関係

◎改正された条例

◇中島村職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部を改正する条例  
福島県人事委員会の勧告に基づき、一日の就業時間を「八時間」から「七時間三十分」に改める条例

◇職員部分休業及び高齢者部分休業に関する条例の一部を改正する条例  
職員の就業時間の改正に伴い所要の改正

◇村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例  
給与月額を村長については二十パーセント、副村長及び教育長については十パーセント、それぞれ減額する特例期間をさらに一年間延長する改正。

◇職員給与に関する条例の一部を改正する条例  
職員の勤務時間の改正に伴う所要の改正並びに通勤手当限度額の改正。

◇中島村幼児等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例  
子供の医療費の助成対象者を「小学校6年生まで」から「中学校卒業時」までに拡大するための所要の改正。  
さらに、条例の名称を「中島村子ども医療費助成に関する条例」に改正。

◇中島村重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例  
福島県障害者支援事業費補助金交付要綱の改正に伴い、新たな対象として「肝臓機能障害」が加わったことに伴う改正。

◇中島村国民健康保険条例の一部を改正する条例  
子どもの医療費の助成対象を中学校卒業時まで引き上げるための改正

◇中島村国民健康保険条例の一部を改正する条例  
保険税の軽減措置について、後期高齢者医療制度と同様とする改正。

◇中島村立幼稚園保育料等に関する条例の一部を改正する条例  
保護者等の入院・通院等により、一時的に保育を欠くような事態に対処するため、一時預かり保育を実施するため、

その保育料を定めるための改正。

## 21年度補正予算

21年度の最終補正予算は、国の景気浮揚のための補正予算の決定をうけて大幅に増額される補正予算となりました。増額された予算については、「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業」として、平成22年度に繰り越されて事業が実施されます。

◇一般会計補正予算(第8号)  
地域活性化・生活対策事業を盛り込む九千一七三六千円を増額する補正予算。

繰り越されて実施される地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業

1 農業基盤整備事業  
損傷が激しい松崎地区排水路施設の修繕工事  
予算額856万円

平成21年度3月補正後の予算額

会計名	年度当初予算額	補正後の予算額	増減	
一般会計	19億3539万円	23億5602万円	4億2063万円	
特別会計	国民健康保険	5億3775万円	5億7603万円	3828万円
	簡易水道	1億4220万円	1億4050万円	△170万円
	土地造成事業	4640万円	4123万円	△517万円
	老人保健	371万円	143万円	△228万円
	農業集落排水処理事業	2億4916万円	2億4494万円	△422万円
	墓地	254万円	310万円	56万円
	介護保険	2億2769万円	2億3985万円	1216万円
	後期高齢者医療	3312万円	2989万円	△323万円
合計	31億7796万円	36億3299万円	4億5503万円	

※金額は、千円以下を切り捨てて表示しています。

- 2 童里夢公園整備事業  
コミュニティセンターのウッドデッキの修繕、県道棚倉矢吹線浦原地区の公園案内看板の塗装修繕。  
予算額 810万円
- 3 村道修繕工事  
村道元村・大泉坊線及び三桝郷・西内線の舗装修繕。  
予算額 4200万円

◇国民健康保険特別会計補正予算（第4号）  
歳入においては、保険税収納見込による減額、一般分保険給付費増額見込みによる国庫負担金増と退職分保険給付費減見込みによる交付金の減額補正。  
歳出においては、一般分療養給付費の増額見込み、退職者療養給付費の減額見込み、さらに共同事業拠出金の増額、

- 4 教育施設整備事業  
滑津小学校校舎屋上防水補修、及び校庭フェンス改修工事  
予算額 630万円
- 5 滑津小学校及び吉子小学校太陽光発電システム設備工事  
予算額 4200万円
- 6 中島中学校太陽光発電システム設備工事  
予算額 2290万円

特定健康診査事業費確定による減額等により全体として81万円を減額する補正予算  
◇簡易水道特別会計補正予算（第3号）  
急速な過機修繕工事の費用確定等のため202万円を減額する補正予算  
◇土地造成事業特別会計補正予算（第1号）  
予算整理のため516万を減額する補正予算。  
◇老人保健特別会計補正予算（第3号）  
予算整理のため355万円を減額する補正予算  
◇農業集落排水 処理事業特別会計補正予算（第4号）  
機能強化対策事業（滑津原処理区）の事業費確定のため423万円を減額する補正予算  
◇墓地特別会計補正予算（第1号）  
墓地分譲二区画分譲による55万円を増額する補正予算  
◇介護保険特別会計補正予算（第4号）  
保険給付費増による21万円を増額する補正予算  
◇後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）  
予算整理のため354万円を減額する補正予算

22年度予算

中島村の平成22年度予算は、一般会計予算19億9419万円と前年度と比較いたしまして3%の増となりました。また、特別会計を含めた総予算額は32億436万円で、21年度当初予算と比較いたしますと0.8%増額予算となりました。

◇一般会計予算

予算額 19億9419万円

重点事業としては、  
・産業の振興と雇用の確保  
・健康・福祉・医療の推進  
・環境と社会基盤の整備  
・教育と子育て支援  
・安全安心の確保、地域づくりの推進のための予算  
となりました。  
（一般会計予算については、いろいろと細部にわたり質疑されました。）

22年度の新たな事業

子ども医療費助成事業  
子どもの医療費について、

保護者の負担軽減を図るため、満15歳までの子供の医療費を全額助成することになりました。  
予算額 2311万円



子ども医療費助成が満15才までに拡大される

戸籍電算システムの導入  
戸籍事務の正確性と証明事務の迅速化により、住民サービスの向上のため、電算化を進めることになりました。  
予算額 3507万円  
総合福祉センター温泉利用券配付  
65歳以上の村民を対象に温泉利用券を配付することになりました。  
予算額 264万円

雇用対策のため緊急雇用創出事業  
失業者の雇用を図るため、道路・公園等の公共施設の管理に臨時職員を雇うための費用  
予算額 557万円

大池下排水機能強化事業  
予算額 1020万円  
集中豪雨等対策基本調査  
集中豪雨による本村の被災箇所等について、今後の防災事業を推進するにあたり、基礎的データを策定する費用  
予算額 342万円

橋梁長寿命化修繕計画策定  
予算額 40万円  
小型動力ポンプ付積載車更新事業  
消防防災設備の充実をはかるため、小型動力ポンプ付積載車1台を更新することになりました。  
予算額 640万円

◆国民健康保険特別会計予算  
国保被保険者の医療費に要する予算。前年度より98万円増額となりました。

◆土地造成事業特別会計予算  
村営分譲地2区画売却見込

みの予算。前年度より16万円の減額

◆老人保健特別会計予算  
20年度より後期高齢者医療制度に移行したため、20年度以前の未払い分のみの支払い見込みにより、前年度より361万円の大減額予算。  
なお本特別会計については、22年度をもって廃止となります。

◆農業集落排水処理事業特別会計予算  
村営の下水道を運営するための予算。機能強化事業がなくなつたことにより、維持管理費用の減のため2、322万円減額されました。

◆簡易水道特別会計予算  
村営の上水道を運営するための予算。水道施設の修繕工事費用の減により1、135万円の減額となりました。

◆墓地特別会計予算  
村営墓地を運営するための予算。

◆介護保険特別会計予算  
介護保険事業を運営するための予算。介護給付費の増加が見込まれるため451万円の増額となつた。

平成22年度当初予算

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	19億9419万円	3.0%	
特別会計	国民健康保険	5億3873万円	0.2%
	簡易水道	1億3085万円	△8.0%
	土地造成事業	4623万円	△0.4%
	老人保健	10万円	△97.3%
	農業集落排水処理事業	2億2593万円	△9.3%
	墓地	264万円	3.9%
	介護保険	2億3221万円	2.0%
	後期高齢者医療	3346万円	1.0%
合計	32億0436万円	0.8%	

※金額は、千円以下を切り捨てて表示しています。

議員昇議案

◆後期高齢者医療特別会計予算  
75歳を超える村民の医療費に要する予算。昨年より33万円増額となつた。

◆議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例  
議会議員の報酬については、平成14年以降月額を5パーセント削減し、村財政に寄与してきたところであるが、さら

西白河地方町村議会議長会

に村財政の経費節減のため、平成23年3月まで延長する提案が総務教育常任委員長よりなされ、提案どおり可決した。

去る4月8日白河市において西白河地方町村議会議長会が開催され折笠三吉議長が出席した。

会議では、西白河地方町村議会議長会の役員改選が行われ会長に高木信嘉西郷村議長が選出された。また協議事項として、議長

会県総会における提出議案説明者の選任や西白河地方町村議会議員研修会の日程や講師等を決定した。

第17回東京なかじま会総会

4月25日「東京なかじま会」の総会が東京の日本青年会館において開催され、折笠三吉議長が出席してきました。

総会では、小室仁弥会長のあいさつに続き村長、議長が来賓祝辞を述べ、その後会員の皆様は思い出話や近況を報告しあい時間の経つのも忘れて語り合いました。

委員会報告

議会運営委員会

- 委員長 藤田利春
- 委員 円谷哲雄
- 委員 鈴木新平
- 委員 吉田茂美

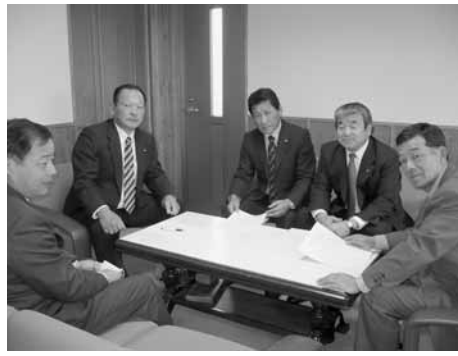
三月定例議会までの議会運営委員会の活動は、三月二日に委員会を開催し議長より諮問があった三月定例議会の運営について協議した。



◇三月二日委員会

・提出議案について  
総務課長より三月定例議会に提出予定案件の概要について説明を受け、今議会で審議することとした。

・一般質問について  
今回は、三名の議員より六件の質問があり、協議の結果全件質問を許可すべきと決した。



・請願陳情について

今定例会には、三件の陳情があった。うち、社会的セーフティネットの拡充に関する意見書提出の陳情について、並びに後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める陳情書に関する件は、総務教育常

任委員会付託とした。

また、福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情に関する件は産業建設常任委員会付託とした。

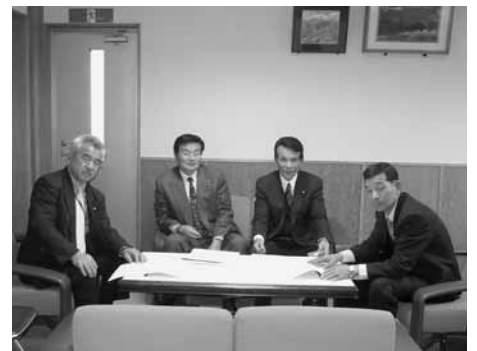
・会期及び日程について  
会期は、三月四日より十二日までの九日間とし一般質問は第二日目に行うこととした。

・核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について  
平和市長会長の広島市長からの依頼による「核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書の決議について」の取り扱いについては、総務教育常任委員会に諮問することとした。

総務常任委員会

- 委員長 加藤幸一
- 委員 水野谷博
- 藤田利春
- 折笠三吉

本委員会は三月四日に二件の陳情案件の付託を受け、同日午後より委員会を開催し陳情内容について審査した。



◇陳情第2号 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書提出の陳情について

急速に悪化する雇用情勢に対応し政府は「雇用と住居を失った者に対する総合支援策」を昨年10月より実施し、種々の支援をしている。  
当地方における総合支援策の実態がどのような状況になっているのか、調査する必要があるとの意見が出され、当委員会では、慎重に検討した結果「継続審査」として調査すべきとの結論に達した。

◇陳情第3号 後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める陳情書

平成20年4月より始まった制度であり、始まって間もないことから、不具合も生じ

もこの制度についてすでに見直しを検討しており、この際国の検討結果が出されるのを待って、本議会の意見を決したほうが良いとの結論達し、「継続審査」にすべきとの意見の一致を見た。

◇議長諮問案件 核兵器の廃絶と恒久平和実現に関する意見書について

核兵器の廃絶と恒久平和の実現は世界中多くの人民が切望するところである。世界で唯一原子爆弾の被害を受けた日本は、世界にさきがけて核兵器の廃絶に向けた取り組みをしなければならぬ。広島市と長崎市が主謀する「平和市長会議」が提唱する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を2010年のNPPO再検討会議に提案するとともにその採択に向け核保有国をはじめ、各国政府に強く働きかけをするよう要望する意見書を提出することとした。

産業建設常任委員会

- 委員長 水野谷薫
- 委員 鈴木新平
- 円谷哲雄
- 吉田茂美



産業建設常任委員会は、一件の陳情案件の付託を受け、三月四日午後委員会を開きその内容について審査した。

◇陳情第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について

現在の福島県最低賃金は、全国31位と低位にあり、この水準では県内の中小・零細企業で働く人たちがパート労働者の生活改善は望めない。

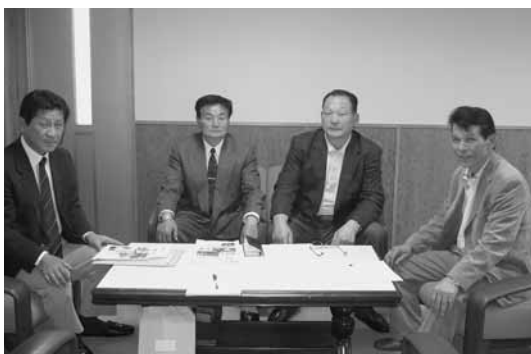
このようなことから、最低賃金の引き上げと早期発効を意見書を持って働きかけを求めるとは、願意妥当との意見の一致を見、採択すべきものと決した。



# 議会広報編集委員会

委員長 水野谷博  
委員 加藤幸一  
委員 鈴木新平

委員 円谷哲雄



議会広報編集委員会は四月三十日に委員会を開催し、議会でより5月号の編集業務を行った。

今回は、各委員会の活動内容を報告する「委員会報告」欄を設けて、委員会に関する記事も載せることにした。

# 村政報告

三月定例議会初日の三月四日に村長より村政の執行状況についてつぎのとおり報告された。

## ◇生涯学習関係

本年度文化講演会はさる二月六日生涯学習センター輝ら里において民謡歌手「伊藤多喜雄」氏を迎えて実施した。

## ◇工事関係

すべての工事について順調に進行し、一部の工事をのぞき既に完了した。未完了のものも工期内には完了する。

ただし平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業等の一部事業は次年度に繰越して実施する。

## ◇教育施設関係事業

滑津小学校校体育館耐震補強大規模改修工事は完了。

さらに吉子川小学校耐震補強大規模改修工事については、実施設計が完了し近日中に発注の予定。

◎平成21年度事業も議員の皆様さらには、村民の方々のご支援とご協力により所期の目的を達成する見通しになったとの報告をした。

# 請願・陳情

本議会に提出された陳情はつぎのとおり処理された。

◇陳情第1号 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について

- ・陳情者 日本労働組合連合会福島県連合会白河地区連合会議長 佐藤秋雄
- ・審議結果 採択
- ・意見書を次の機関等へ送付  
内閣総理大臣  
厚生労働大臣  
福島労働局長

◇陳情第2号 社会的セーフティネットの拡充に関する意見書の提出について

- ・陳情者 日本労働組合連合会福島県連合会白河地区連

# 第1回臨時議会

平成22年第1回臨時議会は、2月10日に1日間の会期で開催されました。村長より「福島県市町村総合事務組合を組織する団体数の減少及び福島県市町村総合事務組合の規約の変更について」の専決処分報告。さらに、「白河地方土地開発公社定款の一部変更について原案どおり可決し、また教育委員会委員佐藤正敏氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を任命することに同意いたしました。

# 第2回臨時議会

平成22年第2回臨時議会は、3月19日に1日間の会期で開催されました。吉子川小学校校体育館耐震補強・大規模改修工事請負契約の締結について、原案どおり可決いたしました。

合会議長 佐藤秋雄

・審議結果 継続審査

急速に悪化する雇用情勢に対応し政府は「雇用と住居を失った者に対する総合支援策」を昨年10月より実施し、「訓練・生活支援給付」「住宅手当」「就職安定資金融資」(生活福祉資金)等の支援をしております、これらの施策をワンストップ・サービスに改善を求め、これらの状況を改善を求める陳情であるが、当地方における総合支援策の実態がどのような状況になっているか、調査する必要がある継続審査とした。

◇陳情第3号 後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める陳情書

- ・陳情者 全日本年金者組合白河支部支部長 本田武雄
- ・審議結果 継続審査
- 後期高齢者制度は、平成20年4月より始まった制度であり、発足して間もないことから、不具合が生じているようであるが、国もこの制度について見直しを検討しており、この検討結果を待って、本議会の意見をまとめたことから、継続審査とした。

# 工事等進捗状況視察

三月二十九日産業建設常任委員会(委員長・水野谷薫)並びに総務教育常任委員会(委員長・加藤幸一)合同による、二十一年度工事等の現場状況を視察しました。工事等は完了しており、どの現場も設計どおり施行されておりました。

また、二十二年度事業予定箇所についても案内をいただき事業内容の説明を受けました。



工事進捗状況を視察する各議員

○主な視察箇所  
・村道背戸原愛宕山線歩道設置工事(平成20年度線越事業)

- ・村道元村大泉坊線舗装補修工事(平成21年度線越事業)
- ・村道三柵郷大池下線舗装補修工事(平成21年度線越事業)
- ・コミュニティセンターウツドデッキ修繕工事(平成21年度線越事業)

- ・大池下地区排水機能強化工事(平成22年度事業)
- ・平成21年度農地有効利用整備事業(松崎地区・岡の内地区)
- ・地域活性化・経済対策危機対策臨時交付金事業(中島中学校校庭東側防球ネット設置工事)

**全村一斉クリーンアップ事業**  
4月29日村民の皆様の協力により道路、河川敷等の一斉清掃が実施され、村内環境の美化が図られました。  
議会では折笠議長・吉田副議長・水野谷薫産業建設常任委員長が村内を巡回し、協力を感謝し慰労して廻りました。

月日	事項
1月22日	・議会広報委員会
25日	・県道棚倉矢吹線整備促進期成同盟会要望活動(福島市)
2月10日	・議会運営委員会
"	・第1回臨時議会
22日	・福島県町村議会議長会総会(福島市)
"	・西白河地方町村議会議長会2月定例会
25日	・白河地方広域市町村圏整備組合議会定例会(白河市)
"	・西白河地方衛生処理一部事務組合議会定例会(白河市)
"	・白河地方水道用水供給企業団議会定例会(白河市)
3月2日	・議会運営委員会
4日~11日	・第1回定例議会
"	・総務教育常任委員会
"	・産業建設常任委員会
13日	・中島中学校卒業式
18日	・中島幼稚園卒園式
19日	・議会運営委員会
"	・第2回臨時議会
23日	・滑津小学校、吉子川小学校卒業式
29日	・21年度工事等事業視察
4月6日	・小中学校入学式
8日	・西白河地方町村議会議長会4月定例会
24日	・さわやか中島杯
25日	・福島県消防協会白河支部春季連合検閲(白河市)
"	・東京なかじま会総会(東京)
29日	・全村一斉クリーンアップ事業

## 議会の日々

## 編集後記

▼平成22年第1回定例会が、当初予算をはじめ、補正予算、条例関係等それぞれ可決され閉会いたしました。今年も議員一同精一杯頑張つていく所存でございますので皆様のご協力よろしくお願いいたします。

▼中国、上海で5月1日史上最大の万博が開幕された。「21世紀の超大国」に向けてひた走る巨大国家の勢いをそのまま示し参加国数、予想来場者数、パビリオン数等過去最高記録を更新しつつ、伸張する国力と存在感を世界にアピールする中国の北京五輪に続く大イベントである。過去30年余りの改革、開放政策の成果を全世界に誇る政治ショーである。我が日本は最新鋭の環境技術や科学ロボットを展示すること。是非とも出展する日本企業は先端技術や食文化を世界にアピールし、新たな商機につなげてほしいものである。

(広報委員 田谷)